



【 子供たちを温かく見守る記念碑 】

- 昨年度から時々意識することがあります。それは、子供たちが学校に登下校するときや、グラウンドに行くときに目にする記念碑です。普段何気なく見っていますが、今回、三つについて改めて見つめてみます。
- 一つ目は、「**ブロンズ像『希望』**」です。「緑の風にのせて」（井波小学校統合 50 周年記念誌）の P22 によると、昭和 45 年 9 月、綿貫民輔代議士より井波小学校の統合記念として寄贈されたとのこと。『**希望に燃えて 明るくたくましい子供に育てほしい**』との願いが込められているとのこと。横山豊介さん（日展作家）の作品だそうです。毎朝、あいさつ運動に立っている私のすぐそばにあります。ときどき、じっと眺めています。まさに、井波っ子に希望を与えると改めて思います。
- 二つ目は、「**モニュメント『伸』**」です。これも、「緑の風にのせて」（井波小学校統合 50 周年記念誌）の P22 に説明が載っていました。昭和 60 年度の卒業生 179 名が卒業記念として寄贈されたそうです。横山善一さん（日展作家）がデザインされたとのこと。『**厳しい環境に負けず、杉のように真っすぐに伸びてほしい**』との願いが込められているとのこと。この願いを知ると、「モニュメント」の見方が変わってきます。
- 三つ目は、「**時計台**」です。これについて説明してある資料を見付けることはできませんでした。「緑の風にのせて」（井波小学校統合 50 周年記念誌）P6 には、「昭和 46 年の最初の運動会」の写真に映っていました。現在の井波小学校が昭和 45 年 9 月に開校したので、おそらく竣工時に造られたものと推測します。私も子供たちも、いつもこの時計を見ており、大変役に立っています。

